



船橋市議会議員（市民社会ネット）

浦田秀夫通信

第96号（2013年6月号）
市長選挙特集号

自宅 船橋市松が丘 4-31-5 TEL&FAX 047- 466-6019
事務所 船橋市高根台 6-38-9 TEL&FAX 047- 461-1350
メール urata.hideo.1950@gmail.com ブログ 浦田秀夫で検索

6月23日は船橋市長選挙 市民の1票1票で新しい市長を選ぼう

6月16日告示、23日投票で船橋市長選挙が行なわれます。
4期16年続いた藤代孝七市長が退任し、新しい市長が選出されることとなります。

現在の船橋市は、一般会計、特別会計、企業会計合わせて3.235億円の予算規模を持ち、子育て支援・教育、医療・介護、防災、経済、環境・エネルギー、まちづくりなどについて様々な課題を抱えています。



しかし、市民の市政に関する関心は決して高いとはいえません。

市長選挙の投票率は毎回30%台前半に止まっています。前回の市長選挙は、有権者476,000人の内、投票した方は163,031人投票率34.25%でした。当選した藤代孝七氏の得票は67,280票で全有権者に対する絶対得票率はわずか14.1%です。

今回の選挙、それぞれ実績や知名度のある方々が立候補を表明しています。明日の船橋を決める大切な今回の市長選挙、ぜひ投票所に足を運び、市民のみなさんの1票1票で新しい市長を選ぼうではありませんか。その際の参考にしていただくために、立候補を表明している主な方を紹介し公約の比較を特集しました。

立候補を表明している方の紹介（5月15日現在）

松戸 徹 (58)	野屋敷いとこ (61)	西尾憲一 (62)	斉藤和子 (38)	安藤信宏 (56)
元副市長	市民団体代表	県会議員	共産党千葉県委員	元市議会議長
東京理科大学卒	東京学芸大学卒	早稲田大学卒	日本大学卒	市川学園高校卒
市民の幸せと子どもたちの未来	市民と共に・命を守り・文化の街を	活力ある環境福祉都市をめざす	医療、福祉、介護、子育てを充実	人材活用こそ行政改革

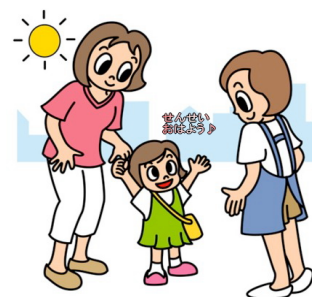
立候補予定者の主な公約

	子育て・教育	医療・介護	防災対策
松戸徹	<ul style="list-style-type: none"> ①「子ども未来会議」を設置し、子どもたちの視点を市政に活かす。 ②スクールカウンセラーを市内全小中学校に配置し、いじめ問題を根絶する。 ③児童虐待の早期発見と保護のため児童相談所を市独自で設置する。 ④幼稚園、保育園を中心に地域の力を活用し、子育て支援と待機児童ゼロに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ①医療・保健・介護・福祉が連携して、在宅で安心して生活できる「地域包括ケア」体制を作る。 ②買い物が大変な高齢者のため、市場、商店街と連携し「高齢者向け宅配システム」を確立する。 ③医療センターを充実・建替え、救急医療とがん治療を中心とした高度医療を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①市民の連携を強めて、災害に強いまちをつくる。避難所の拡大と備蓄を充実させる。 ②高齢者や障害のある人を災害時に守るために要援護支援体制を作る。 ③津波対策のために、防潮堤と水門の耐震化を早急に行なう。
野屋敷いとし	<ul style="list-style-type: none"> ①アパート・マンションを有効活用したグループ保育、保育と教育の一体化の推進。送迎ステーションで待機児童を解消。 ②DVと児童虐待の早期発見、対応を可能にする児童相談所の設置。 ③国際感覚豊かな社会人になるために短期留学推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ①市内の放射線汚染に関する情報の徹底公開と具体的対策。給食の食材検査の充実。 ②小児がんの早期発見のために専門小児医療を充実。 ③船橋看護専門学校の充実で日本一の看護師輸出市へ。 ④介護福祉学校の誘致。 	<ul style="list-style-type: none"> ①徹底した危機管理により、災害に強いまちづくり、どこにいても安心できる市へ。 ②防波堤・水門の老朽化対策と耐震化を急ぐ。
西尾憲一	<ul style="list-style-type: none"> ①保育園の増設による待機児童の解消。 ②婚活支援、不妊症、不育対策 ③船橋中央駅周辺に新文化ホールの建設。 	<ul style="list-style-type: none"> ①特別養護老人ホームの増設による待機高齢者の解消。 ②市立看護福祉大学の創設。 	<ul style="list-style-type: none"> ①防災公園の整備（スポーツ広場を兼ねて） ②防災拠点兼ねた道の駅建設。 ③津波避難ビル、神社などの指定。
斉藤和子	<ul style="list-style-type: none"> ①少人数学級実現など教育条件の整備に力をいれる。 ②スポーツや芸術活動を支援して、文化豊かな船橋市をつくる。 ③子育てを充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療、福祉、介護を充実させ、国民健康保険料など市民負担の軽減を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害に強い街づくりを進め、放射能への対策を根本的に強める。

(争点1) 保育所の待機児童対策

船橋市の4月1日現在の保育所の待機児童数は679人です。この数字は入所申込者2,611人の中、認可保育園、認証保育園、家庭保育のいずれにも入所できなかった児童の数です。市の待機児童対策にも関わらず昨年4月1日現在の627人から増大しています。

市は25年度中に188名、26年度に460名の定員増を図る計画ですが、増大する待機児童に追いつきません。いつまでに、どうやって待機児童を解消するのか、今回の市長選挙の大きな争点の一つです。



(争点2) 地域包括ケアシステムの構築

介護を必要となった市民が住みなれた地域で、在宅でも安心して暮らせるよう、医療や介護、保健サービスを24時間切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の構築が急がれています。いつまでに、どのように構築するのか、各立候補予定者の論争を期待したい。

	経済・観光	環境・エネルギー	まちづくり	その他
松戸徹	① 卸市場を「食の駅」にしてだれもが気軽に立ち寄って食と食材を楽しめる市場を作る。 ② 農漁業、工業、商業など頑張る若手後継者の交流イベントの開催。	① 船橋の海を学習できる「三番瀬ワールドミュージアム」を作り船橋の新しい魅力を創造する。 ② 下水処理場を利用した小水発電を開発し、太陽光発電を学校や公共施設を利用して強力に進める。	① 狭い道路を一方通行にして、歩道、自転車道、車道を作る「新しい道」のモデル事業を展開。 ② 海老川河口に海が見える公園など、市民が憩える魅力の場をつくる。	文化やスポーツ活動が盛んな船橋市、活動環境をより充実して、さらに元気な船橋市をつくる。
野屋敷いとこ	オートレース場の廃止。	環境に優しい、原発に依存しない電気・バイオマス・公共施設の熱エネルギーなどの利用。	① 既存の公園を生かし散歩のできる街。 ② 主要駅周辺の電柱の地中化、ベイエリアの創出。	① 市長の黒塗り公用車の廃止、市長、副市長等の給与30%カット。 ③ 管理職を民間からの公募制導入。
西尾憲一	① 船橋ベイリゾート構想三番瀬、谷津干潟、ららぽーと等で食と環境のテーマパークにする。 ② 都市農業の進行と後継者育成、漁場の再生と船橋港の活用。	① 再生可能エネルギーの導入。スーパーごみ発電所の建設、公立小中高校に太陽光パネルの設置、船橋海浜公園に風力発電所の建設。 ② 三番瀬に自然観察センターを設置。	① 次世代型路面電車の導入。(南船橋駅～仮称船橋中央駅～医療センター～御滝公園～三咲駅) ② 西船橋南口駅前広場と南船橋駅南口広場の整備。	① 近隣市との合併による政令指定都市化。 ② 船橋中央駅周辺に市役所移転。
斉藤和子	① 中小工業や商店街の振興、農業と魚業の活性化に力を入れる。 ② 雇用の拡大に全力を上げ、給与の引き上げなど雇用条件の改善を進める。	① 原子力発電依存をやめ、自然エネルギーへの転換を求める。 ② 三番瀬をはじめ森や林、中小河川などの自然環境を守る。	① 巨大マンション等の乱立を食い止め、市民の住環境を守る。 ② 飯山満、海老川上流域の区画整理事業などの大規模開発を見直す。	男女平等を徹底し、情報公開や住民参加の行政運営を貫く。

安藤信宏	1、5つの行政区に「なんでも屋区場」を総合窓口として、出前市長室として設置し、区民懇談会を開催。 ① 各区に小規模な公設民営の職場を増やし、介護や子育てを支援する場を作る。 ② 災害時には、市と区に災害対策本部を設置。	③ 医療、福祉、避難所に非常用自家発電整備を徹底。 ④ 電力の「地産地消」へ小規模発電への挑戦を支援。 ⑤ 平和都市宣言、福祉と緑の都市宣言、スポーツ健康都市宣言を大切にしたい事業を市と区で考える。 2、市長給与3割、ボーナス5割、退職金7割カット
------	---	---

各立候補予定者や支援団体が発行した5月13日現在の討議資料などを参考にしましたが、紙面の都合で全てを掲載したものではありません。政策を比較するために編集者の責任で政策課題別に分類し、編集・作成しました。斉藤和子氏の政策は、明るい船橋民主市政の会との政策協定を基に分類しました。安藤信宏氏の政策は、政策課題別に分類できませんでしたので別掲載としました。これらの政策は今後、変更・追加されることもあります。正式には選挙広報などを参考にしてください。

(争点3)藤代孝七市長4期16年間の評価

藤代市長の4期16年をどう評価し、これを継続するのか、藤代市政の転換を図るのかも大きな争点の一つです。学童保育の公設・公営化、子ども医療費の中学3年生までの助成拡大、高層マンション建設を規制する「高さ制限制度」導入、リハビリ病院の建設、特別養護老人ホームの建設、災害時の飲料水確保、校舎の耐震化促進、医療センターへの路線バス試行運転などは評価すべき点です。

一方で国民健康保険料の値上げや高齢者、障害者福祉サービスの削減は市民に痛みを求めるものでした。また、保育所の待機児童対策、退職金削減も一期だけの3割削減では不十分でした。

野田剛彦議員

「政務調査費架空請求疑惑」

市民社会ネットの見解

平成 24 年 7 月 18 日、産経新聞に「首相実弟の市議調査費 130 万円 不正受給か」「秘書企業から架空領収書の疑い」との記事が、また同年 7 月 26 日、おなじ産経新聞に「首相実弟の市議 調査費 134 万円を返還」との記事が掲載されました。

これらの報道を受け、平成 24 年第 4 回定例会において、議会自ら事実関係を明らかにし、市民に説明する必要があるとして、地方自治法第 100 条第 1 項の権限に基づき議会運営委員会で調査を行うことが決議されました。

議会運営委員会は、5 月 8 日まで 14 回の委員会を開催し、野田剛彦議員、竹口由利人元首相政策秘書、吉田茂行タウンプラン代表取締役の 3 人を参考人招致し、意見聴取を行い、また関係する書類、資料などについて調査を行いました。

参考人聴取の中で、野田剛彦議員は、竹口由里人氏に対し平成 19 年から 23 年にかけて、市民意識調査や政策宣伝資料作成費として 134 万円を政務調査費から支出し、竹口由里人氏からは同氏の交友関係の中で得た話などに基づいて作成した資料及び口頭での提言を受け取っていたとして、竹口由里人氏への政務調査費の支払いや同氏から資料提供は実態のあるもので新聞報道の「架空領収書を使った政務調査費の不正受給」は事実でないとして主張しました。

また、指摘された調査費 134 万円を、市に返還したことについて、「政務調査費の用途基準に基本的に反することはしていないが、調査の対象物である調査資料を廃棄し、説明責任が果たせないという事務的な

瑕疵があったので、自戒の意味もあり、報告書を訂正し、返金した」と説明しました。

しかし、竹口由里人氏から提供されたとする資料は一切保存されておらず、野田剛彦議員が主張する実態があったとする直接的証拠は示されませんでした。

資料は、後援会報や政策ビラなどの基礎資料となったとして、後援会報や政策ビラが提出されましたが、資料の存在を証明するものとは言えないものです。

野田剛彦議員からの竹口由里人氏への政務調査費の支払いについて、竹口由里人氏は、会社として業務を行ない、会社名で領収書を発行しながら会社の会計には計上せず、自分の懐に入れて、個人的な用途に支出し、本件が新聞報道された後の平成 24 年 9 月 30 日付けで当時の会社（東央工美）会計に計上しました。

竹口由里人氏が野田元首相の政策秘書であったという立場にあり、これらの支払いが政務調査費（公費）から支出していたことを承知していたことから、こうしたお金の処理は極めて不自然、不適切で、実際に野田剛彦議員から竹口由里人氏へ政務調査費が支払われたどうか、疑問を払拭できません。

また、仮に実態があったとしても竹口由里人氏から提供されたとする資料は、同氏の交友関係の中で得た話などを A4 の紙に手書で提供したり口頭で行ったもので、市民意識調査と言えるものではなく不適切な支出です。

指摘された「架空領収書を使った不正受給」という疑惑を解消するに至りませんでした。委員会で調査した範囲ではこうしたことを断定する証言や資料は確認できませんでした。

今後は、こうした疑惑を持たれないよう、政務調査費を使って作成した資料などの保管を義務付ける必要があります。

「浦田秀夫と市民の会」 会員募集中！

「浦田秀夫と市民の会」は、浦田秀夫議員の活動を支え、浦田秀夫議員と共に市政を改革し、市民生活の向上と市政への市民参加を実現する会です。

年 4 回の市政報告会、夏の平和のつどい、浦田秀夫通信の発行と配布などの活動の他、一泊のバス旅行や新春のつどい、お花見、囲碁大会、パークゴルフ大会など楽しい行事を通じて会員相互の親睦も図っています。現在会員を募集中しています。会費は年間 1 口千円です。皆様にぜひとも、浦田秀夫と市民の会にご加入下さるようお願い申し上げます。加入申込は電話又は FAX、メール等でお願います。